



2009下野の国大会(144MHz)
での私の判断と行動

2009年4月19日(日)
於 栃木矢板自然休養村

安島 巧

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m

下野の国 ARDF 競技大会

2009年4月19日

栃木県塩谷町自然休養村センター周辺

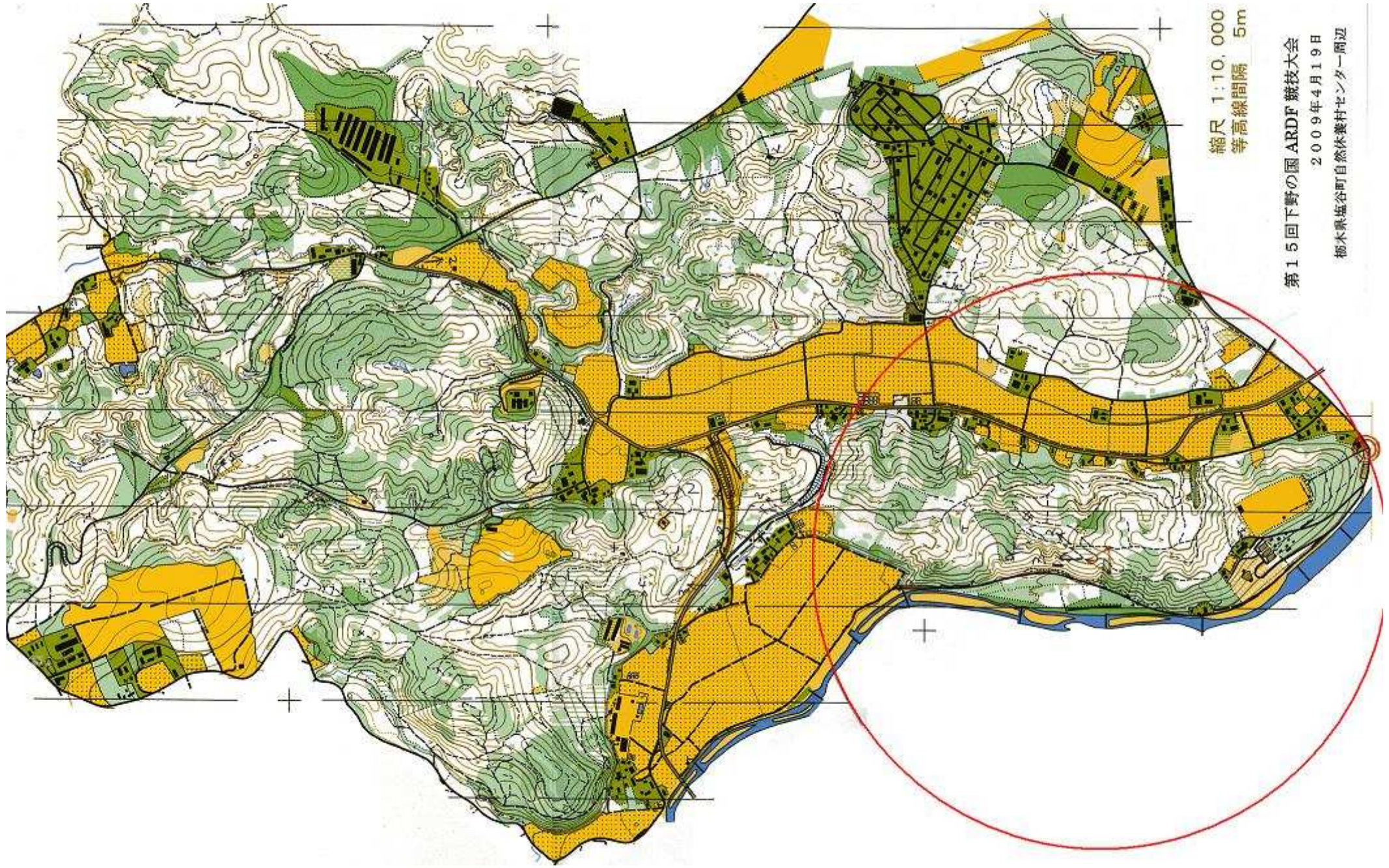
初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

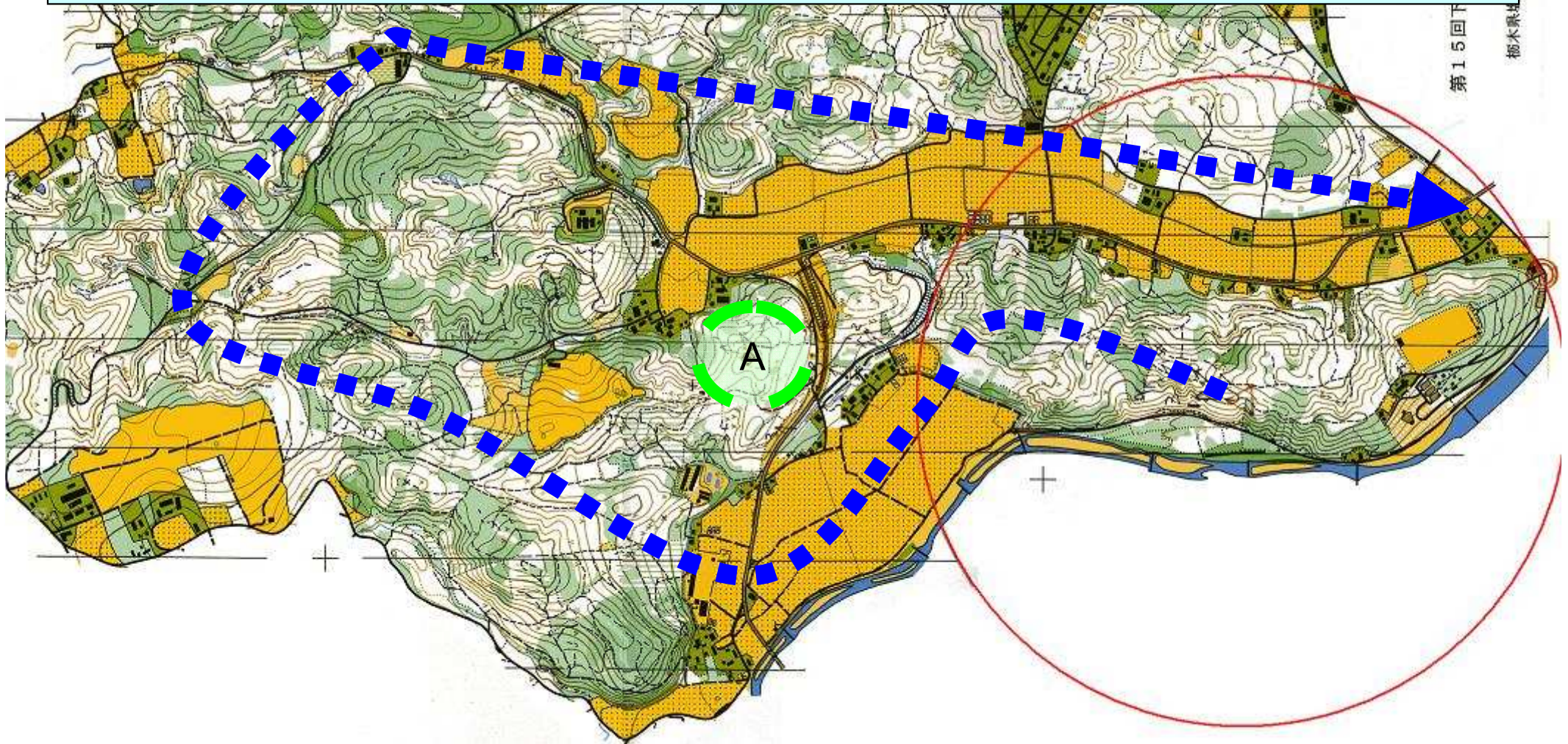


縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m

第15回下野の国 ARDF 競技大会
2009年4月19日
栃木県塩谷町自然休養村センター周辺

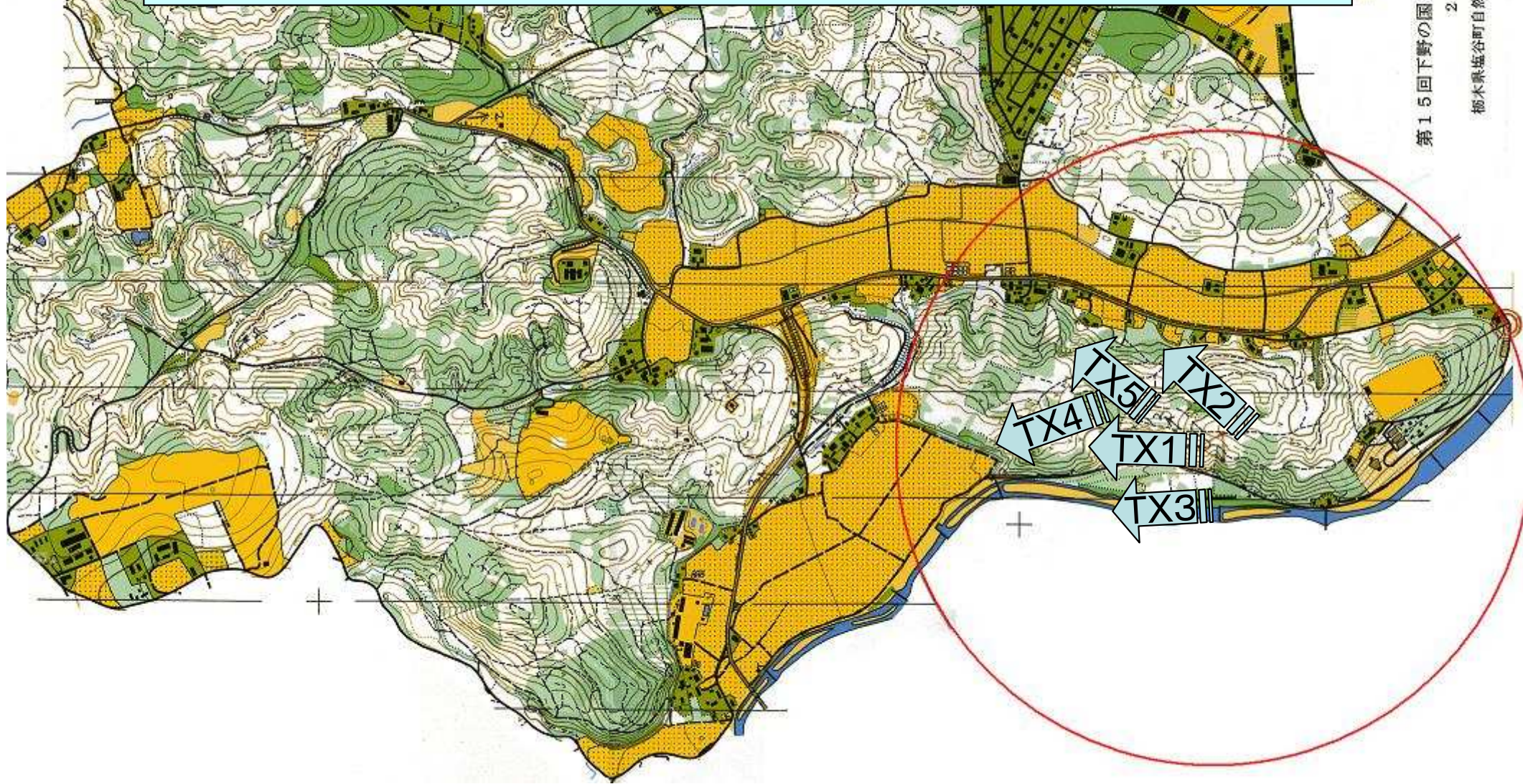
①「スタート地点にて地図読み」

スタートは高所だが、トレインの端。スタート円ぎりぎりまで、できる限り尾根道を北上し方探したい。ゴールは最南端なので、トレイン東側を通過してゴールだ。よって右回りコースと決定。今回は高橋富美夫さんや三村さんと一緒に最終組スタート。タイムオーバーは許されない。また、一度は上らないといけない高いところとして、Aの山頂を選んだ。でもできれば登りたくない。



②探索開始地点

TX3が最も強く次がTX4.両方ともテレイン西側の田んぼの方。TX1は正面で弱い。TX2,5は若干東側で弱い。テレイン南すなわちスタート円の真東近辺にはなさそうだ。



等高線間隔 5m

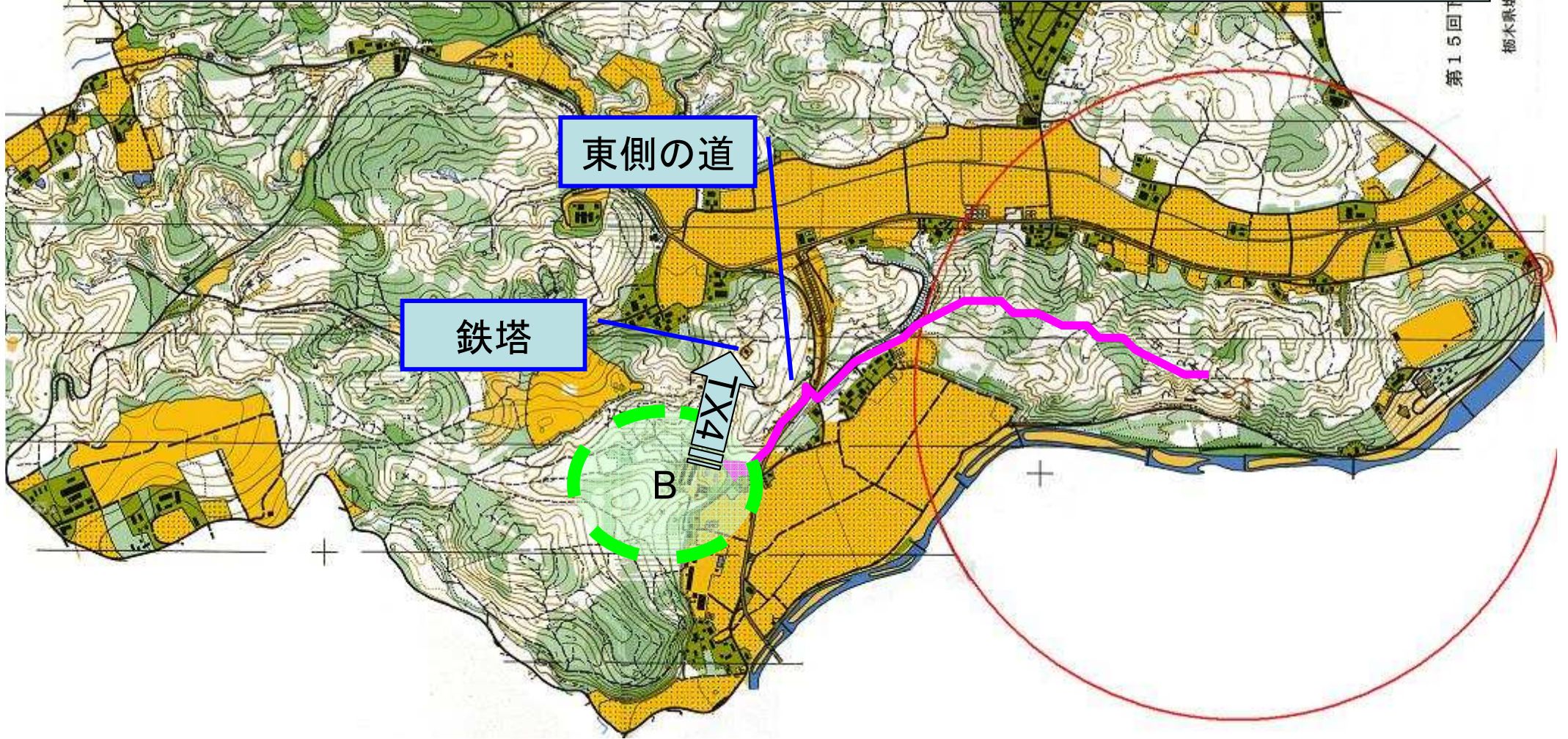
第15回下野の国 ARDF 競技大会

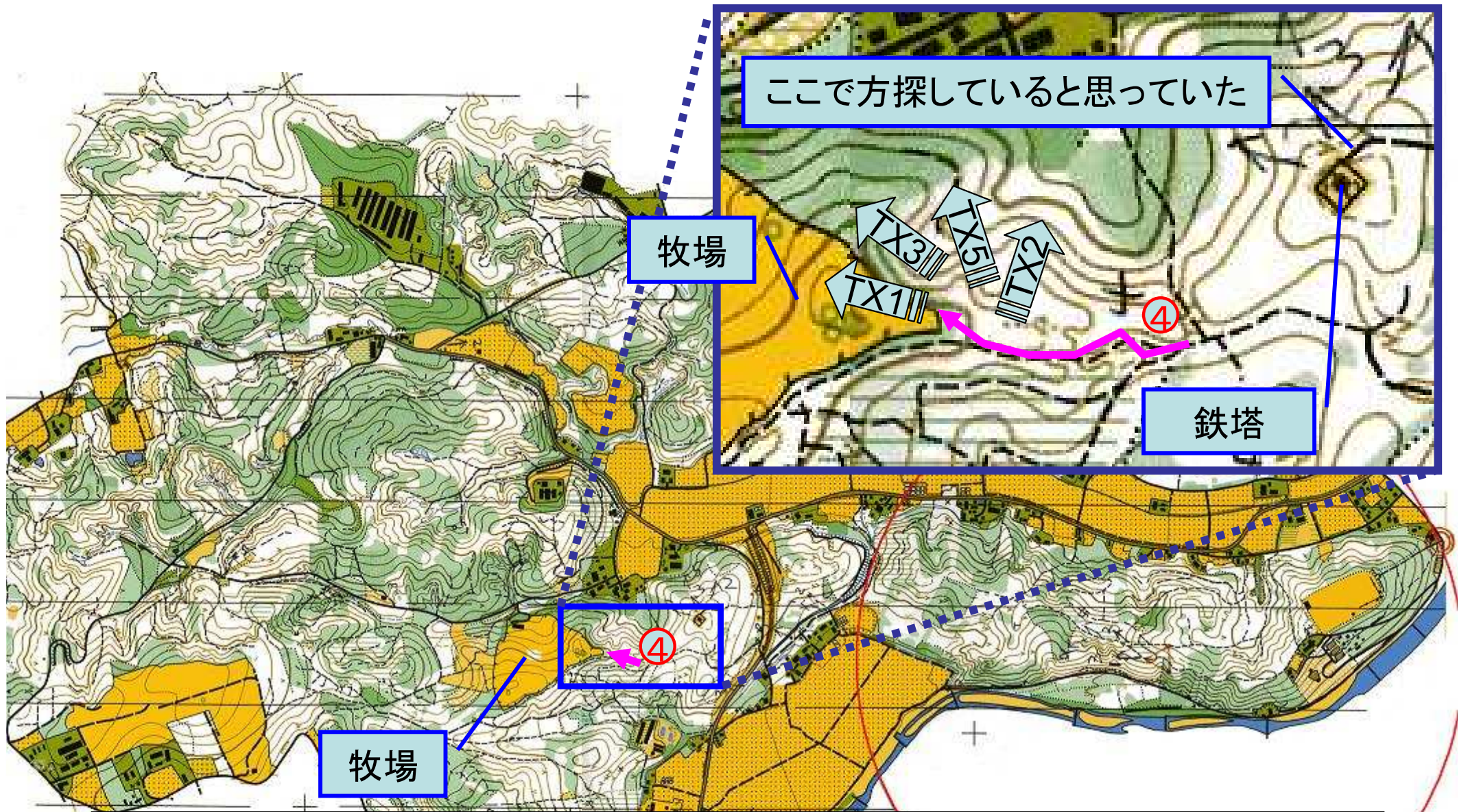
2009年4月19日

栃木県塩谷町自然休養村センター周辺

③田んぼに降りて山道へ

道はわからなくなってしまったが、とにかく北上。下りになり始めたので、西側の田んぼに降りる。TX1,2はかなり遠そうだが、TX4はBエリアと推定。何人かが上の東側の道に向かっているが、自分はBエリアを目指し西側の山道に入っていく。TX4が鳴く。鉄塔のほうだ。やはり東側の道が正解だったか？



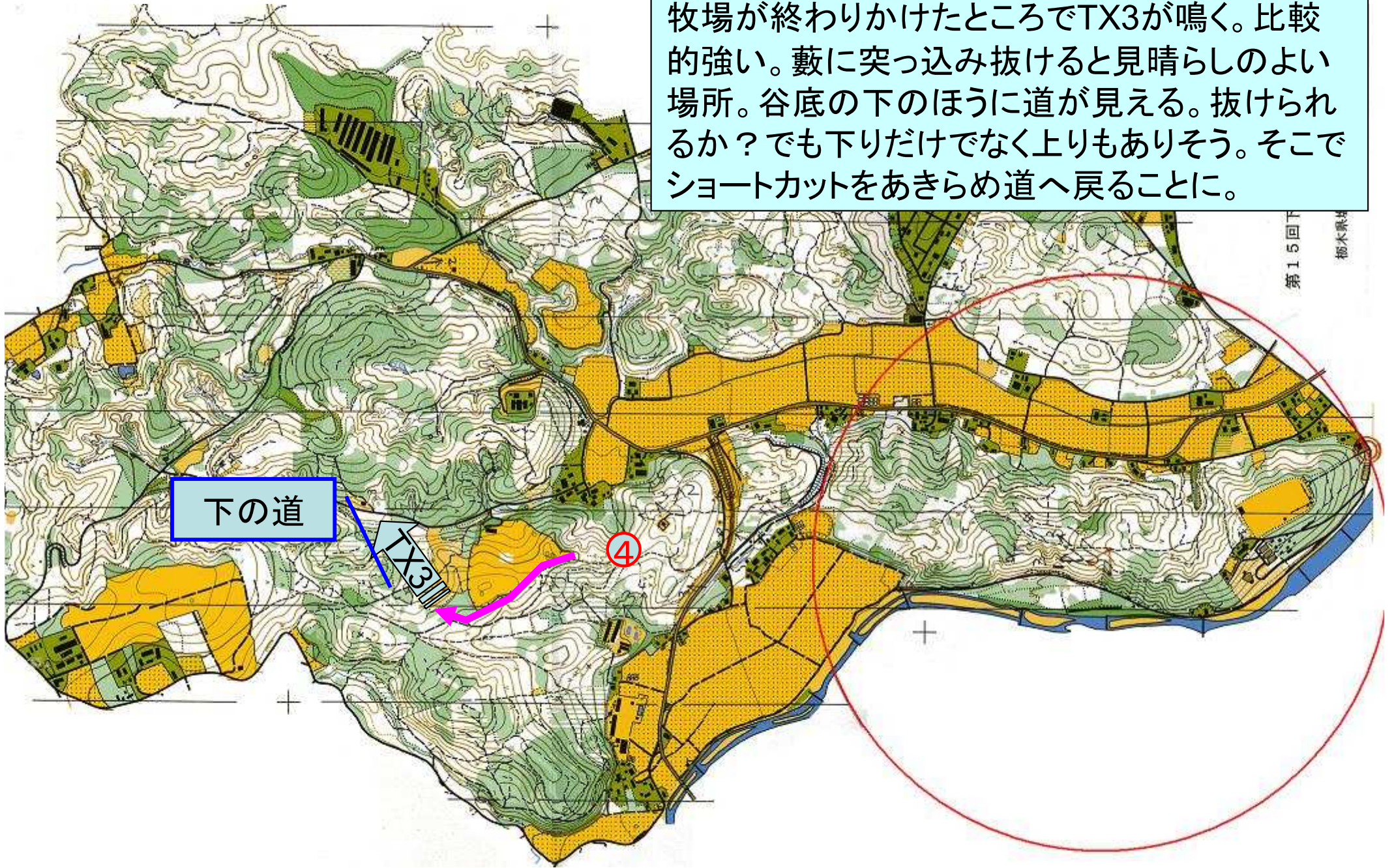


⑤頂上

折角ここまできたので山頂(鉄塔)を目指す。山頂と思しきところで方探。次のターゲットはTX1orTX3。薔薇線で囲われたエリアがあり、高橋さんはその西側を北に向かってぶっ飛んでいった。妙に薔薇線エリアが広い。おかしい。ここで自分の位置が鉄塔ではなく牧場脇であることに気づく(正しい位置がわかった)。

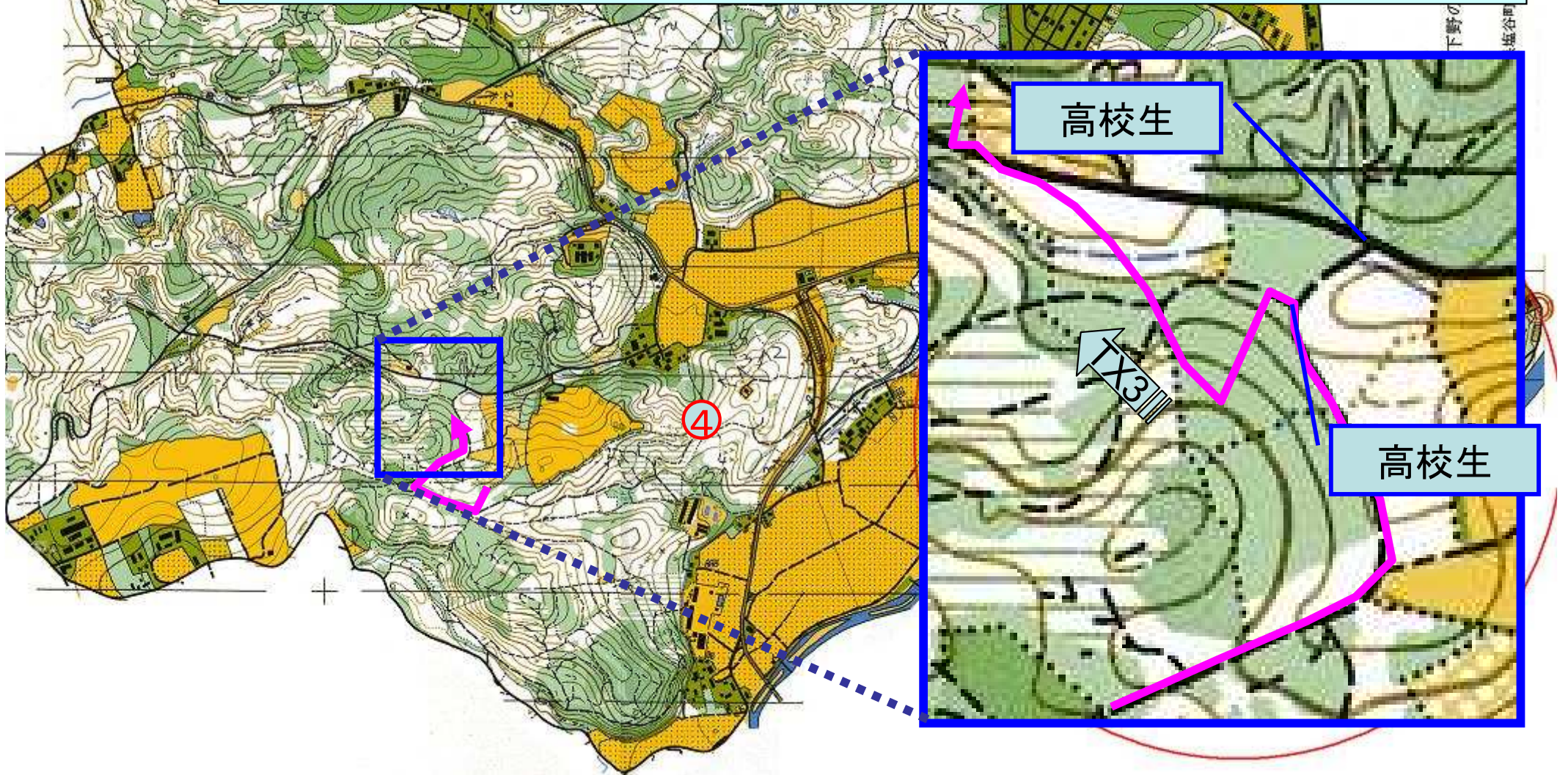
⑥下道が見える。

牧場が終わりかけたところでTX3が鳴く。比較的強い。藪に突っ込み抜けると見晴らしのよい場所。谷底の下のほうに道が見える。抜けられるか？でも下りだけでなく上りもありそう。そこでショートカットをあきらめ道へ戻ることになった。



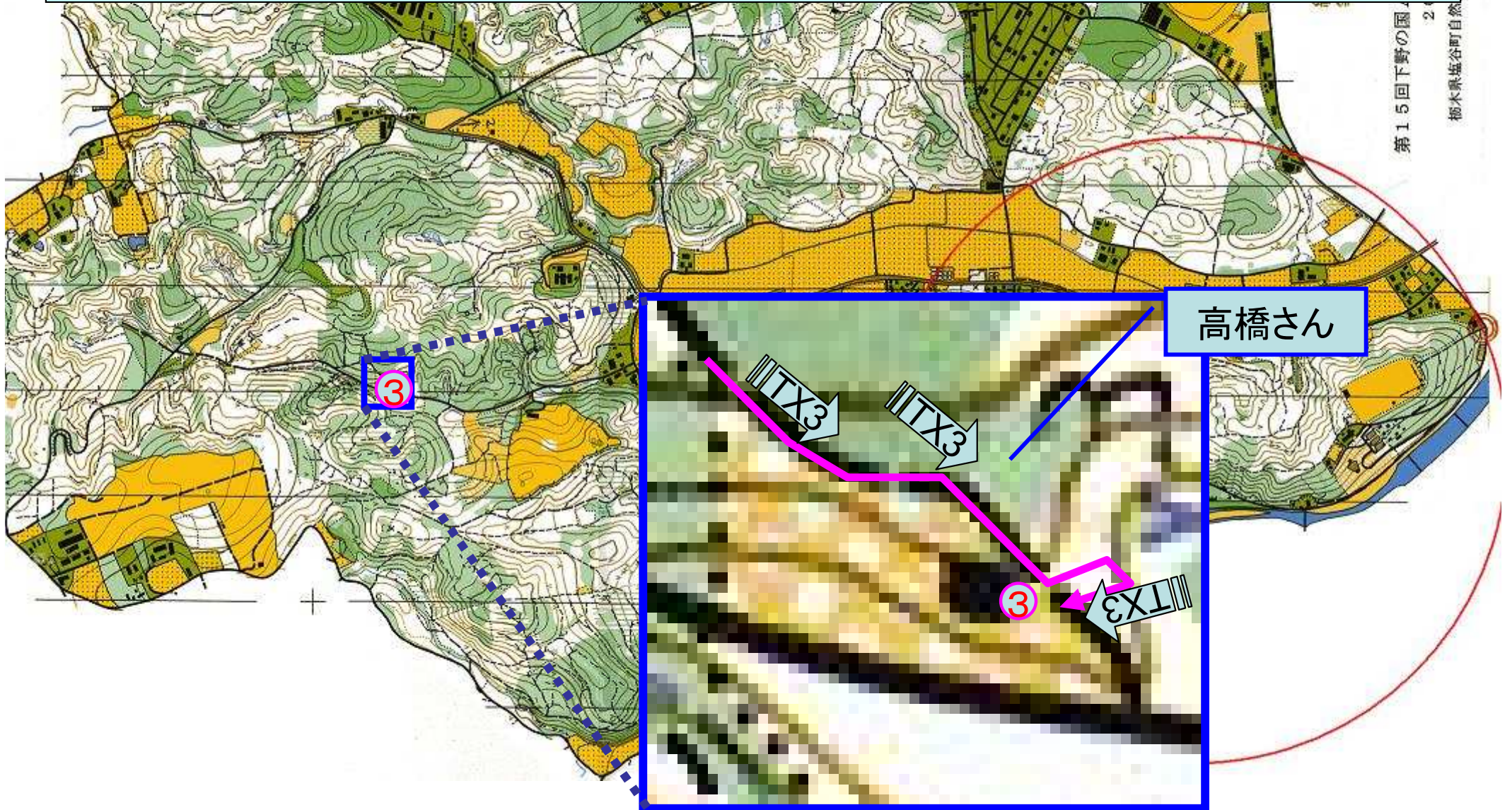
⑦TX3を待つ

下っていくと、高校生が約2名交差点付近で待機している。キミたちは正解。定石どおりだ。自分はまだ距離感がわからないので、安全策をとり、高いところへ登る。TX3が鳴く。あわてて山を駆け下り、まっすぐと藪を進み道に出る。上のほうを目視探索しながら道を進む。上れそうなところがあったので上る。



⑧TX3

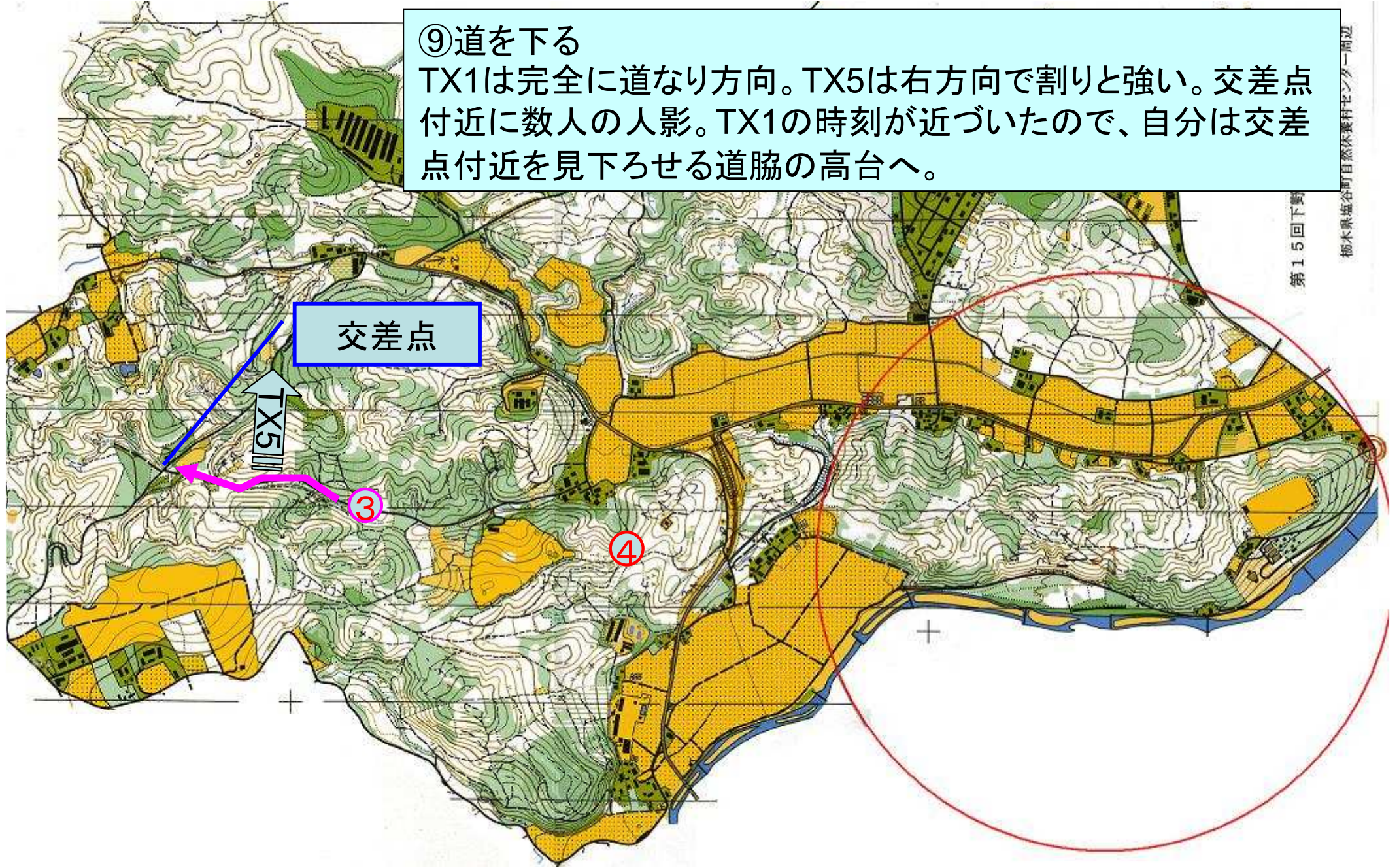
TX3が鳴く。下で、至近距離だ。坂を駆け下りる。左の藪に高橋さんがいた。えっそこ？いやもっと下でしょう。横目で見ながら通り過ぎ、勢いあまって左の藪に突っ込む。おかしい。後ろだ。あわてて道に出ると目の前にフラッグ。TX3ゲット。

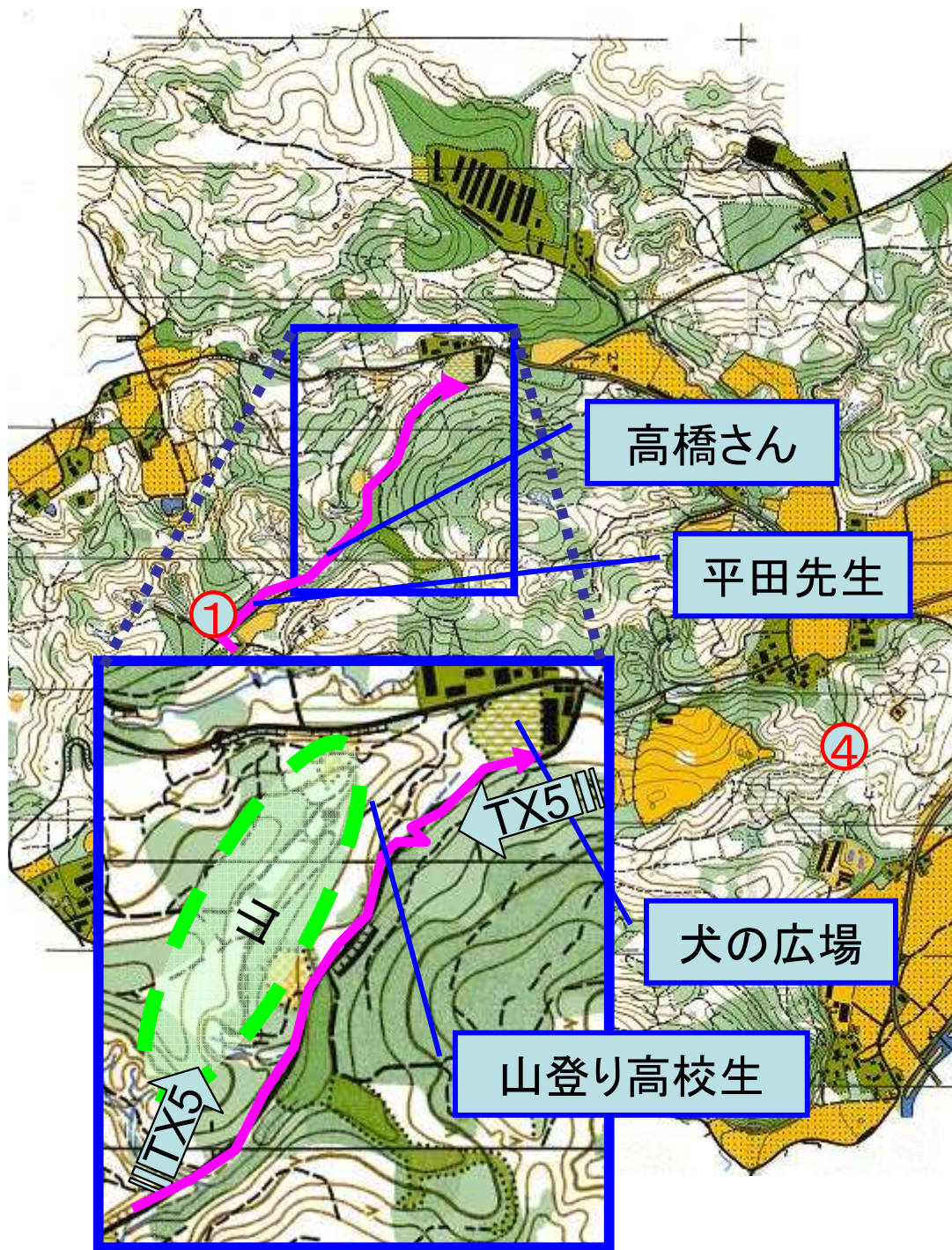


第15回下野の園
2
栃木県塩谷町自然

⑨道を下る

TX1は完全に道なり方向。TX5は右方向で割りと強い。交差点付近に数人の人影。TX1の時刻が近づいたので、自分は交差点付近を見下ろせる道脇の高台へ。





⑩TX1

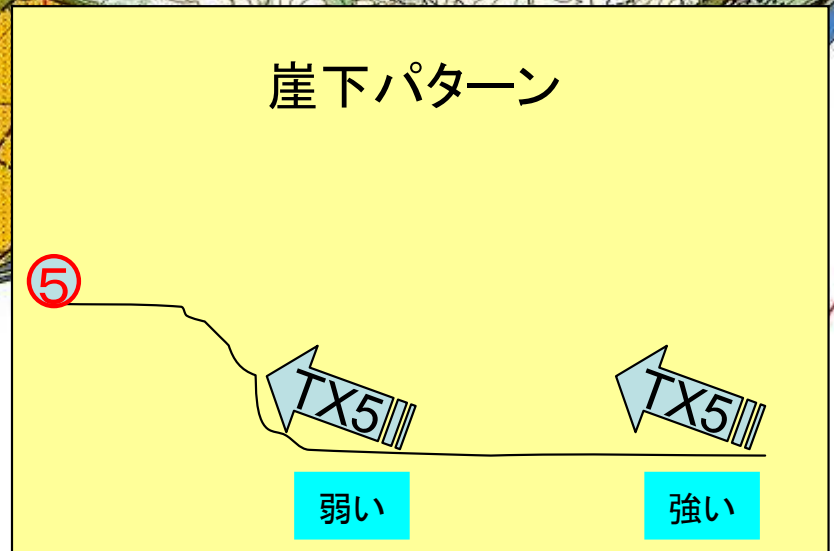
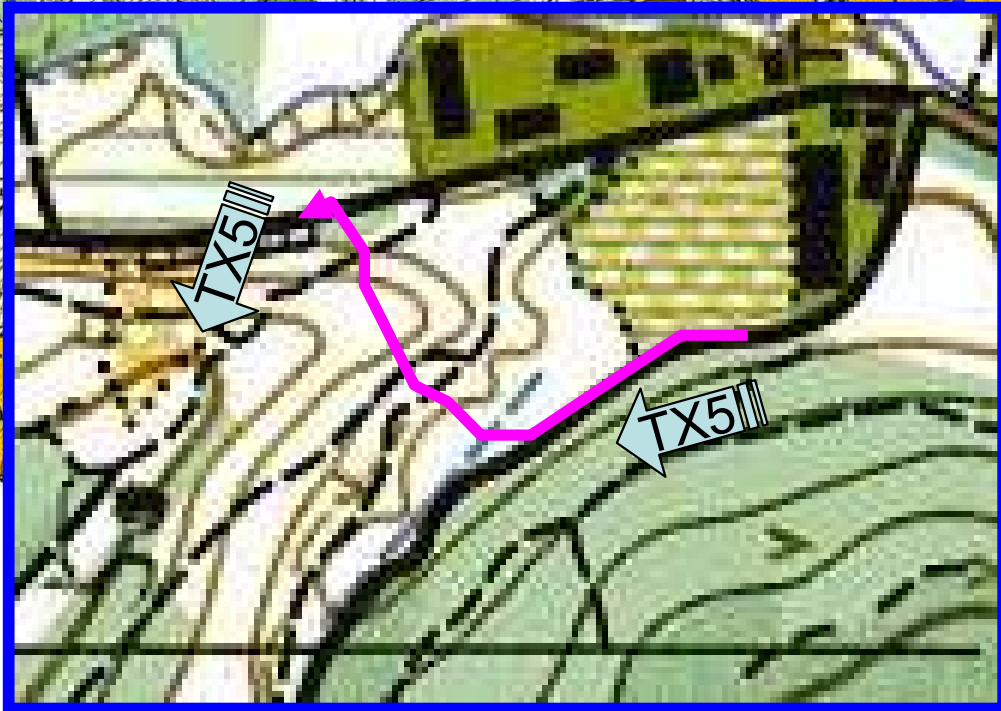
TX1が鳴く。交差点付近だ。交差点脇に何人か入っていく。あーそこですか。高台をおりて、TX1ゲット。

道に出てTX5に向かうところで平田先生とすれ違う。その先で高橋さんとすれ違う。TX5は道なり方向だがさっきより弱い。これは道の左側にある山陰という可能性が高い。道がくねくねしたところまでくると左側の山を高校生が登りながら躊躇している。キミ、その山に登るのは正解だよ。そこで待てば山のどちら側にあるか明確にわかる。躊躇せずがんばって上れ！私は別の方法を選び、広場で待つことに。そこだと山の東側の道へもいけるからだ。しかし、そこはたくさんの犬がほぼ放し飼い状態。やられた。そのときTX5が鳴く。さっきの山のほうだ。しかも強い。あわてて戻り山へ向かう。



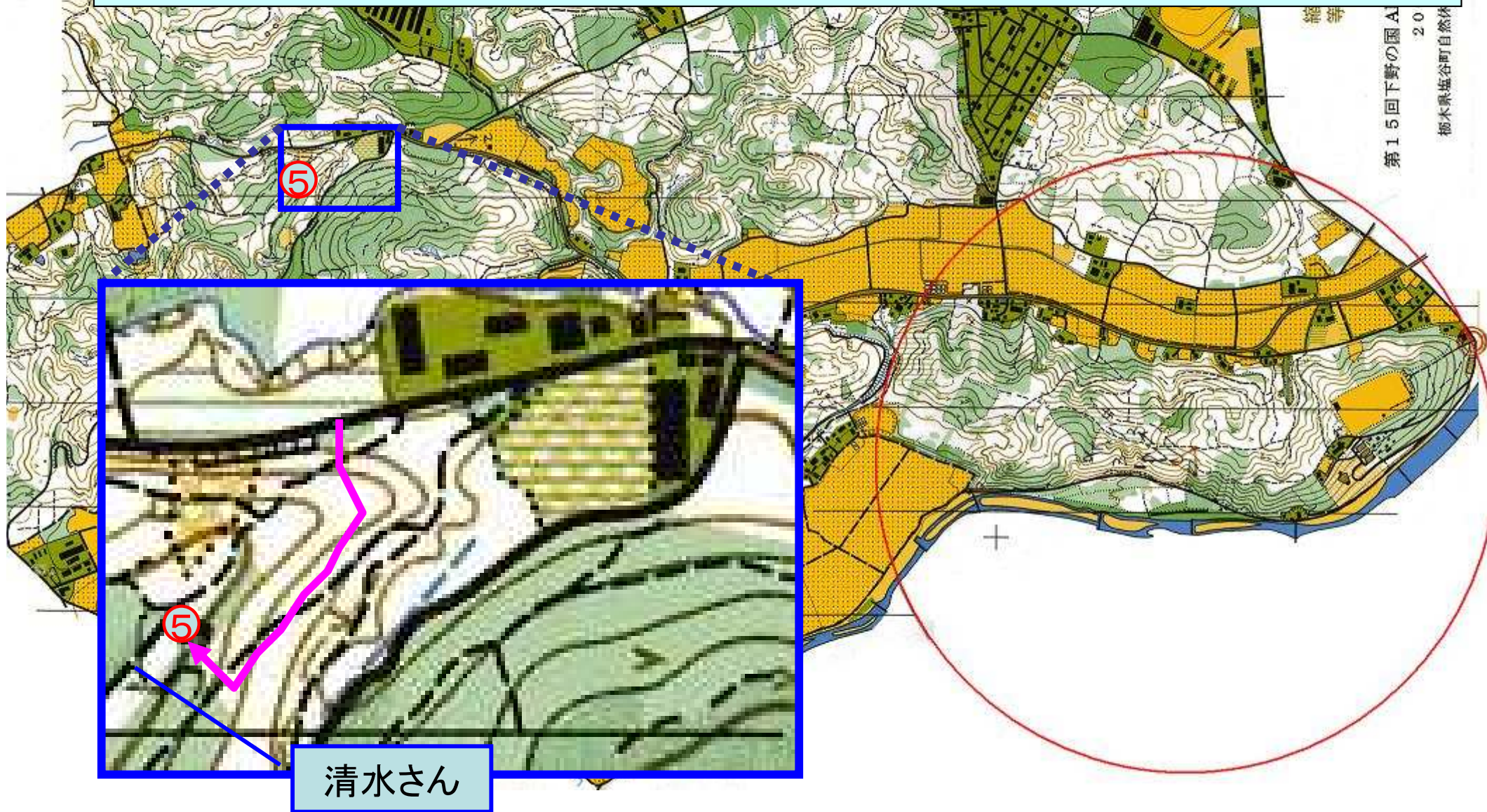
⑪ 反対側の道

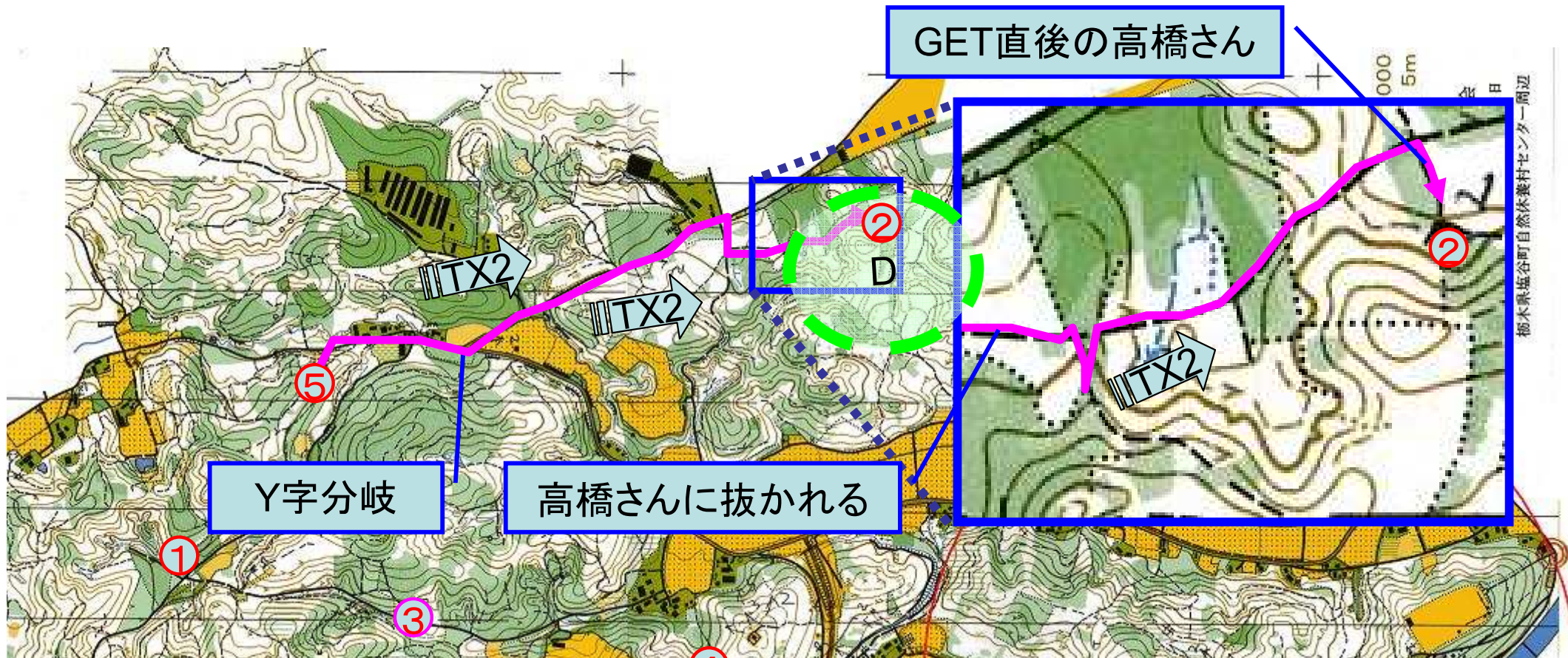
山に登ると、何人かの軍団が反対側（東側）の道に下りているのが見える。なんかつられて降りてしまった。なさない。軍団の姿がゴール方向にちらっと見えた。ということは彼らはゲットした後だったに違いない。ということは山の上？一応道に下りたのでTX5を待つ。TX5が鳴く。やっぱり山の上。でも弱い。典型的な崖下パターンだ。



⑫TX5

山に戻り北西方向へと登っていく。目視探索だ。右にあった。近づこうとするが藪が深くなかなか進めない。そこへ左のほうから清水さんが駆け下りてくる。間一髪先を越されてしまった。TX5ゲット。



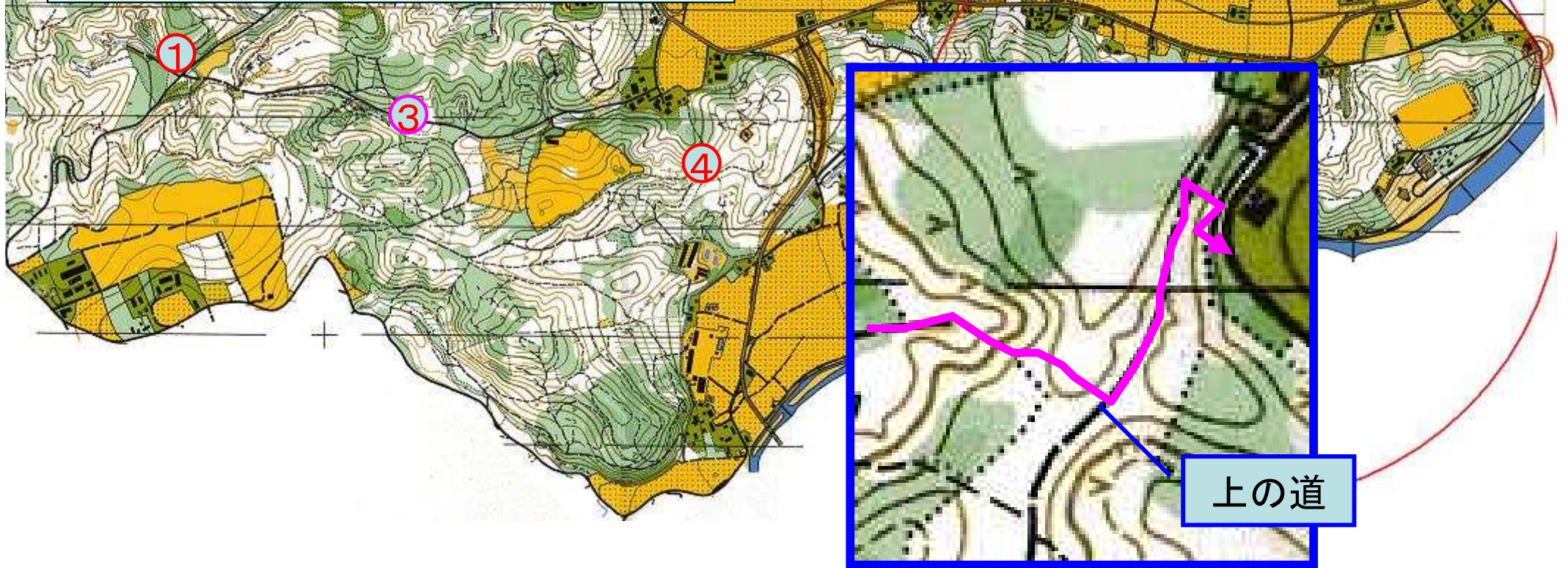


⑬ Y字分岐とTX2

南下するがY字分岐でどちらに行けばよいのかがきわめて重要だ。左方向に高橋さん、右方向に三村さんが進んでいるのが見える。TX2が鳴いた。注意深く方探。どちらかというとなら左だ。高橋さんも三村さんも左側の道をぶっ飛んで行った。途中の方探で、Dエリア付近と推定。反射が無く方探結果が安定しているため、比較的平らなところに設置されていると推定。二人は南下したが自分は右折して山道に入る。しばらくして戻ってきた高橋さんに抜かれる。自分はさらに右折して山の中のほうへ進んだところでTX2が鳴く。右折せず、まっすぐ行ったほうだ。そちらへ進むと前方で高橋さんが右から左へと走っていくのが見える。ゲット直後の様子。ああそこですか。TX2ゲット

⑭崖のぼり

どうやってゴールに戻るか。道へ戻るとかなりの大回り。考えた末、崖が登れそうなので、本競技での最後ののぼりと信じて。上の道にでる。山道はキャタピラのおかげがあったので、おそらく山道を降りても大丈夫と思ったが、安全策をとって少し上って住宅街へと進むコースをとった。道が怪しくなってきた。ヤバイ逆は考えていなかった。早々に住宅街へと出る。



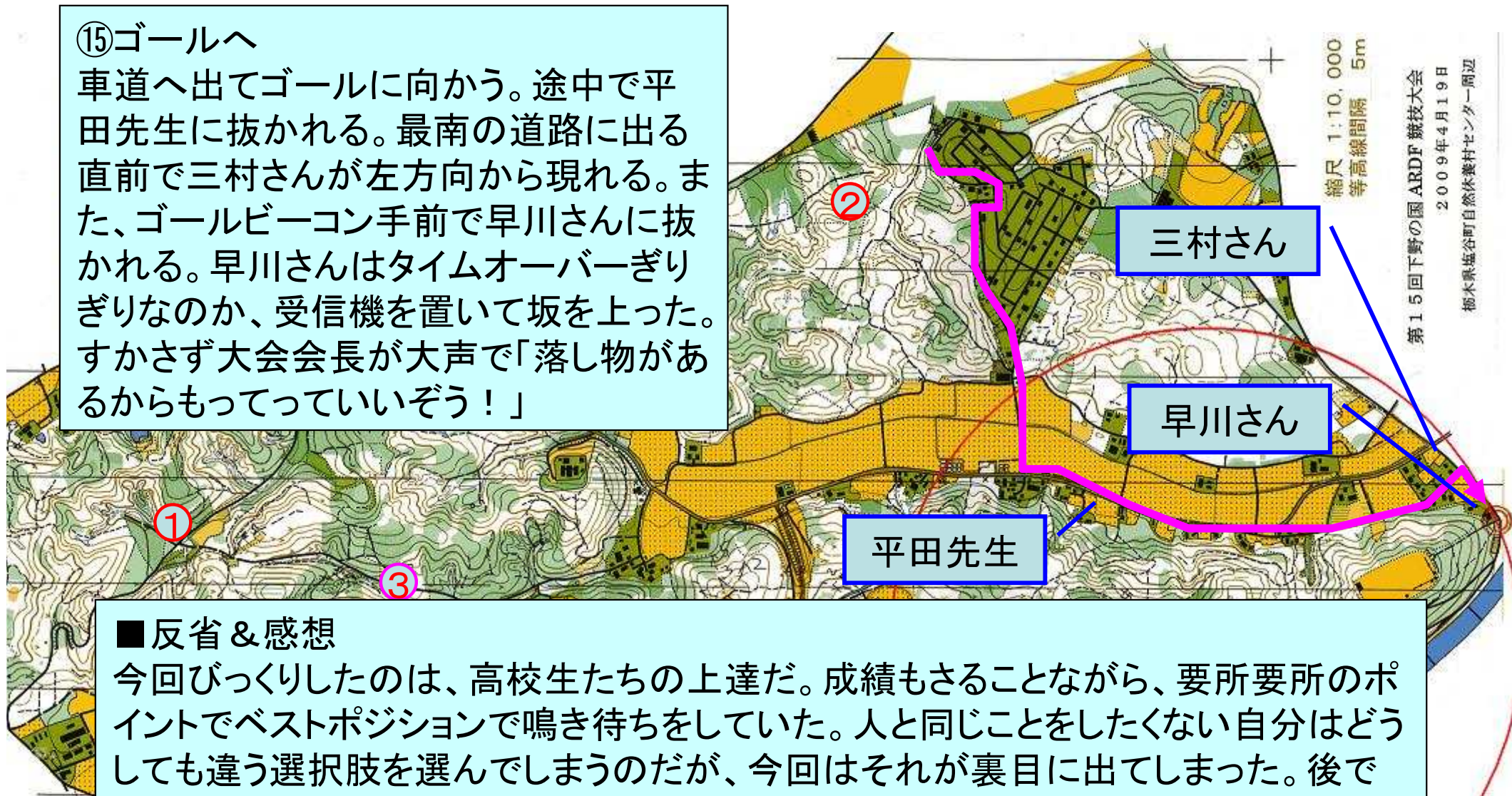
縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m

第15回下野の国 ARDF 競技大会
2009年4月19日
栃木県塩谷町自然休養村センター周辺

上の道

⑮ゴールへ

車道へ出てゴールに向かう。途中で平田先生に抜かれる。最南の道路に出る直前で三村さんが左方向から現れる。また、ゴールビーコン手前で早川さんに抜かれる。早川さんはタイムオーバーぎりぎりなのか、受信機を置いて坂を上った。すかさず大会会長が大声で「落し物があるからもってっていいぞう！」

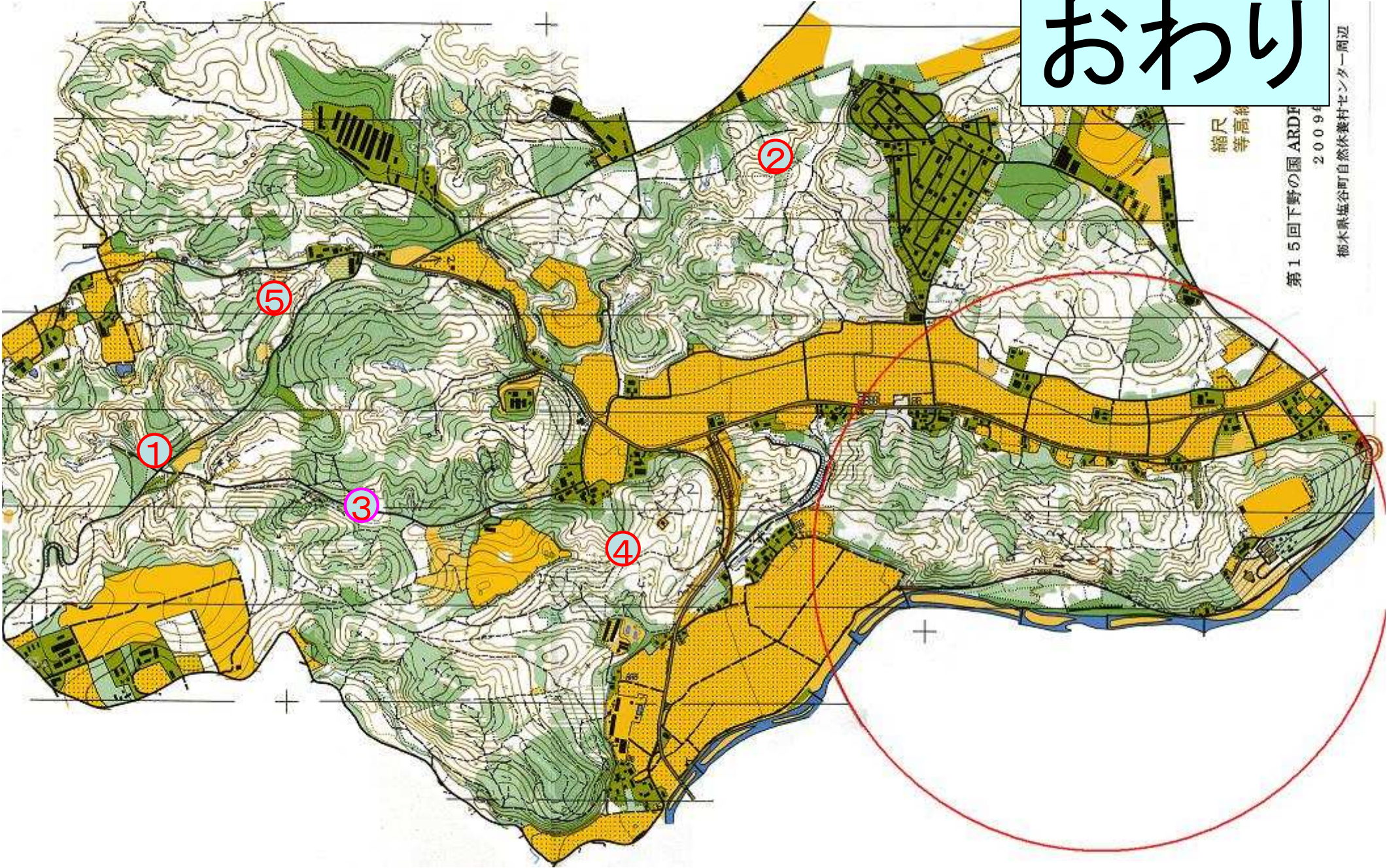


■反省 & 感想

今回びっくりしたのは、高校生たちの上達だ。成績もさることながら、要所要所のポイントでベストポジションで鳴き待ちをしていた。人と同じことをしたくない自分はどうしても違う選択肢を選んでしまうのだが、今回はそれが裏目に出てしまった。後で聞いたことだが、小倉さんは逆周りをしたとのこと。その理由は人と一緒になりたくなかったからとのこと。今回の地図読みではどう考えても逆回りは不利。自分にはとてもできない芸当だ。

反面、TX5付近で人につられてしまった自分が情けなく許せない。罰として一鳴き分多くなってしまった。何を考えていたのだろうか。猛反省。

おわり



縮尺
等高線

第15回下野の園 ARDEN
2009

栃木県塩谷町自然休養村センター周辺